【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2000-195621(P2000-195621A)
【公開日】平成12年7月14日(2000.7.14)
【出願番号】特願平11-347465
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　13/719　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　13/719

【手続補正書】
【提出日】平成18年12月7日(2006.12.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　少なくとも１つのコンタクト配置孔（３０）を有するハウジング（１６）と、
前記コンタクト配置孔（３０）に配置される雌コンタクト領域（３８）を有する第１の電気端子（１８）と、
前記コンタクト配置孔内に配置され、前記第１の電気端子（１８）のそれぞれの雌コンタクト領域（３８）を別々に取り囲むフェライトフード（２０）と、
を具備し、
前記フェライトフードが異なる材料で製造されることを特徴とするフィルタコネクタ。
【請求項２】　前記第１の端子（１８）が、導電体に接続される導体接続領域を有し、前記フェライトフード（２０）が、前記導体接続領域から離れて配置されていることを特徴とする請求項１記載のコネクタ。
【請求項３】　前記ハウジングが２つのコンタクト配置孔（３０）を具備し、各孔が雌コンタクト領域（３８）の１つと、フェライトフード（２０）の１つとを受容する請求項１又は２に記載のフィルタコネクタ。
【請求項４】　前記ハウジングが単一のコンタクト配置孔（３０）を有し、フェライトフード（２０）が並列配置され、前記コンタクト配置孔で互いに接触している請求項１又は２に記載のフィルタコネクタ。
【請求項５】　異なる材料は、異なる周波数減衰量を有する請求項１ないし４の何れかに記載のフィルタコネクタ。
【請求項６】　前記材料の１つが、電気的に非導電材料からなる請求項１ないし５の何れかに記載のフィルタコネクタ。
【請求項７】　前記第１の電気端子（１８）が、前記雌コンタクト領域（３８）と概略一列に整列された配線接続領域を有する略直線状に、それぞれ形成されている請求項１ないし６の何れかに記載のフィルタコネクタ。
【請求項８】　前記第１の電気端子（１８）が、前記雌コンタクト領域（３８）に対して直角に配される配線接続領域を有する略Ｌ字状に、それぞれ形成されていることを特徴とする請求項１ないし６の何れかに記載のフィルタコネクタ。
【請求項９】　前記雌コンタクト領域（３８）が、梁状のスプリングコンタクトと略方形の輪郭形状とをそれぞれ有し、前記フェライトフード（２０）が、それぞれ、それを貫通する単一の孔を有する管状に形成されていることを特徴とする請求項１ないし８の何

れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項１０】　前記ハウジング（１６）が、変形可能なラッチ部を有することを特徴とする請求項１ないし９の何れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項１１】　前記フェライトフード（２０）が、それぞれ、内径約１．５ｍｍ、外径約２．５ｍｍの管状に形成されていることを特徴とする請求項１ないし１０の何れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項１２】　雌コンタクト領域（３８）が、摩擦ばめでフェライトフード（２０）に接続される請求項１ないし１１の何れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項１３】　請求項１ないし１２の何れかに記載のフィルタコネクタと、
前記第１の電気端子（１８）の雌コンタクト領域（３８）に配置される雄コンタクト領域（４８）を有する第２の電気端子とを具備することを特徴とするフィルタコネクタ装置。

【請求項１４】　別個のコンタクト配置孔（３０）を有するハウジング（１６）と、
前記各コンタクト配置孔（３０）に配置される雌コンタクト領域（３８）を有する第１の電気端子（１８）と、
少なくとも２つの別個のフェライトフード（２０）と、
を具備するエアバッグのガス発生装置とともに使用するフィルタコネクタであって、
雌コンタクト領域（３８）は、各フェライトフード（２０）に受容され、それらフェライトフード（２０）は、電気的に互いに隔離されていることを特徴とするフィルタコネクタ。

【請求項１５】　前記第１の電気端子（１８）が、導電体に接続される導体接続領域を有し、前記フェライトフード（２０）が、前記導体接続領域から離れて配置されていることを特徴とする請求項１４記載のコネクタ。

【請求項１６】　ハウジングが、互いに隔離された関係において、フェライトフードとそれらの各雌コンタクト領域とを維持するための誘電性部分を有する請求項１４又は１５に記載のフィルタコネクタ。

【請求項１７】　前記誘電性部分がコンタクト配置孔（３０）を分離する壁（５０）を具備する請求項１６に記載のフィルタコネクタ。

【請求項１８】　前記雌コンタクト領域が、梁状のスプリングコンタクトと略方形の輪郭形状とをそれぞれ有し、前記フェライトフードが、それぞれ、それを貫通する単一の孔を有する管状に形成されていることを特徴とする請求項１４ないし１７の何れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項１９】　前記ハウジングが、変形可能なラッチ部を有することを特徴とする請求項１４ないし１８の何れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項２０】　前記フェライトフードが、それぞれ、内径約１．５ｍｍ、外径約２．５ｍｍの管状に形成されていることを特徴とする請求項１４ないし１９の何れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項２１】　前記フェライトフード（２０）が異なる材料で製造される請求項１４ないし２０の何れかに記載のフィルタコネクタ。

【請求項２２】　少なくとも１つの前記フェライトフード（２０）が導電性フェライト酸化物からなり、少なくとも別のフェライトフード（２０）が非導電性フェライト酸化物からなる請求項２１に記載のフィルタコネクタ。

【請求項２３】　請求項１４ないし２２の何れかに記載のフィルタコネクタと、第１の電気端子（１８）の雌コンタクト領域（３８）に配置される雄コンタクト領域（４８）を有する第２の電気端子とを具備することを特徴とするフィルタコネクタ装置。